

「野菜栽培による荒廃農地の再生」(株式会社三窪建設)

法人の概要

【所在地】鹿児島県日置市

【設立】昭和51年11月【農業開始時期】平成19年8月

【経営面積】22.9ha 【営農作物】キャベツ, でん粉用さつまいも

【参入に至った経緯・動機】

建設業で主に農業土木工事を手がけていたが、周辺の農村地域において、高齢化等に伴う荒廃農地が増加していく傾向にあることへの危惧があった。

建設業の受注量が減少する中、経営の多角化を模索しており、市や農業委員会等の関係機関・団体にも相談しながら、会社として農業に参入した。



取組のポイント

- 農地は、主に荒廃農地を借り入れ、自社保有の機械・技術により基盤整備を進めるとともに、自社製造堆肥の投入等による土作りに取り組んでいる。
- 営農作物は、地元農協と相談し、機械化しやすく収益性の高いキャベツ栽培に取り組んでおり、地域の中心的なキャベツ生産者として期待されている。
- 農業参入による荒廃農地の解消や、農道整備など水土里サークル活動への積極的な参加等から、地元で信頼を寄せられている。
- 今後は、土作りによる収量向上に取り組むとともに、引き続き、荒廃農地の基盤整備を進めながら栽培面積の拡大を目指す考え。